

第40回クレサラ被害者交流集会 プレ・オンライン集会

いま “大分岐の時代”～私たちが未来を作る”

新型コロナウイルス感染拡大のため市民生活が大きな打撃を受けています。災害時には平時からの制度の不備が極端な形であらわになるとも、パンデミック(広範囲な流行病)後には大きな社会体制の変革が起きるとも言われています。

コロナ災害を乗り越えて、日本社会はどのように変わっていくべきなのか。各分野の最前線を知るパネリスト、新進気鋭の哲学者とともに考えたいと思います。

※本企画は、本年9月20日・21日に予定されていた第40回全国クレサラ・生活再建問題被害者交流集会in大阪の1年延期に伴い、そのプレ集会として企画したものです。

日時 2020/9/20(日)13:00～16:00

会場 オンライン開催 (Zoomを活用します)

プログラム

▶ 基調講演 「コロナ禍は“未来への大分岐”に何をもたらすか」

齋藤幸平氏

【略歴】

1987年生。大阪市立大学大学院経済学研究科准教授。博士(哲学)。新刊「資本主義の終わりか、人間の終焉か?未来への大分岐」でマルクス・ガブリエル、マイケル・ハート、ポール・メイソンと対談し話題に。

▶ パネルディスカッション

参加費 議員・弁護士・司法書士・大学教員 2,000円/その他の方 1,000円

申込 以下のフォームからお申し込み下さい

<https://pro.form-mailer.jp/lp/87812f60190906>



主催 全国クレサラ・生活再建問題対策協議会、全国クレサラ生活再建問題被害者連絡協議会
第40回全国クレサラ・生活再建問題被害者交流集会実行委員会

■実行委員会事務局 せんり中央司法書士事務所

560-0085 大阪府豊中市上新田2丁目22-27 電話 06-6872-3400 FAX 06-6872-3366